

I

数学・情報工学・経営工学・数理物理などを専攻しているみなさんへ

厚生労働省は、子どもからお年寄りまで、皆様の暮らしの安心と安定を支えることを主な役割とする国の機関です。

我が国は、少子・高齢化、グローバル化や情報通信技術の進歩、産業構造や就業構造の変化に働き方やライフスタイルの多様化など、様々な社会・経済の構造変化に直面しています。あらかじめ予測することが難しい災害や感染症の発生に向き合わなければならないこともあります。そうした中で、暮らしを守り、就業環境の整備や人材育成、年金・医療・介護といった社会保障の機能や持続可能性の確保、少子化対策など様々な課題に取り組んでいくことが厚生労働省での具体的な仕事です。

厚生労働省の担当する行政の分野は、人々の日々の生活に密接に関係していることに加え、経済規模もかなり大きなものです。1年間の社会保障給付費は120兆円を超えており、GDPの2割を超える水準となっています。

厚生労働行政の企画立案や業務遂行は、それが経済全体や国民生活に大きな影響を与え得るものであることから、しっかりした『科学的根拠』に基づいていなければなりません。数学や数理科学の専門知識や思考力が必要とされますし、数理的な感性が

重要となる場面が多くなっています。そうした素養のある人材が求められています。

厚生労働省では、事務系、技術系、地方自治体や民間企業からの出向者など、様々な知識・技術・経験を持った職員が働いています。それぞれの専門性を活かしたり、お互いに学びあったりしながら、チームとして様々な課題に取り組み、目標に向かって進んでいます。このような、多様な人材が協力して仕事をしていくという職場環境も、厚生労働省の魅力の一つです。

厚生労働省では、毎年、『国家公務員採用総合職試験』の「数理科学・物理・地球科学（院卒者試験及び大卒程度試験）」の合格者から、採用を行っています。

数学や数理科学に関連する分野の素養を持ち、社会や経済に広く眼を向けて仕事をしてみたいと思う方、そして、国民のために働いてみたいと思う方は、是非、このパンフレットに目を通してみてください。

我々、数理職の役割や業務を身近に感じていただけたと思います。



厚生労働省年金局数理課長
山内 孝一郎